

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会 「第1回在宅医療・介護連携推進部会」
開催日時	令和2年10月23日（金） 午後2時から午後3時
開催場所	清須市役所北館3階 研修室
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p>（1）在宅医療介護連携取組状況（資料1）</p> <p>（2）高齢者福祉・介護保険事業計画策定について（資料2）</p> <p>（3）市外医療機関へのアンケート（資料3、参考資料1・2）</p> <p>4. 報告</p> <p>（1）電子@連絡帳の活用について（災害時連携オプション） （資料4、参考資料1）</p> <p>5. その他</p> <p>（1）地域包括ケアシステム推進委員会について（資料5）</p> <p>6. 閉会</p>
会議資料	<p>清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿</p> <p>清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱</p> <p>令和元年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について（資料1）</p> <p>高齢者福祉・介護保険事業計画策定について（資料2）</p> <p>在宅医療・介護連携に関するアンケートのお願い（資料3）</p> <p>IIJ電子@連絡帳 災害時連携オプションのデモ版試行について（資料4）</p> <p>清須市地域包括ケアシステム推進委員会の在り方について（資料5）</p> <p>令和元年度第2回在宅医療介護連携推進部会アンケート集約（参考資料1）</p> <p>入院時情報連携シート(案)（参考資料2）</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	加藤委員（部会長）、大前委員、山口委員、堀江委員、脇田委員、太田委員、新美委員
欠席委員	なし
出席者 （オブザーバー）	西名古屋医師会在宅医療サポートセンター 中西コンダクター
出席者（市）	河口健康福祉部長

事務局	<p>(清須市役所高齢福祉課) 古川高齢福祉課長、幸村課長補佐兼介護予防係長、石黒主任主査、竹内主査</p> <p>(清須市役所保険年金課) 篠田保険年金課長</p> <p>(清須市社会福祉協議会地域包括支援センター) 柴垣管理者、松岡係長</p>
会議の経過	<p>1. 開会</p> <p>●事務局 只今から令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会「第1回在宅医療・介護連携推進部会」を始めさせていただきます。 私は、本日の進行役を務めさせていただきます高齢福祉課長の古川です。よろしくお願いいたします。 会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただきたい事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますのでご承知おきください。 なお、本日傍聴者はお見えになりません。 それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。 最初に、開会にあたりまして。健康福祉部長の河口よりご挨拶申し上げます。</p> <p>2. 挨拶</p> <p>●河口健康福祉部長 〔部長挨拶〕</p> <p>●事務局 続きまして、委員の紹介についてですが、お手元の委員名簿にて委員紹介に代えさせていただきます。また、オブザーバーとして、西名古屋医師会在宅医療サポートセンターのコンダクターであります中西様にご出席していただいておりますので、宜しくお願い致します。 次に、議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第6条第4項の規定により部会長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤部会長に議長をお願いいたします。</p> <p>◎加藤部会長 〔部会長挨拶〕</p>

加藤部会長より会議録署名委員に山口委員、堀江委員を指名。
(山口委員、堀江委員承諾)

3. 議事

●事務局

[資料に沿って説明]

- (1) 在宅医療介護連携取組状況 (資料1)
- (2) 高齢者福祉・介護保険事業計画策定について (資料2)

◎加藤部会長

在宅医療介護連携の取組について、第7期介護保険事業計画の中で最も課題だと考えられ、第8期で重点を置きたいことは何でしょうか。

●事務局

第7期計画では、レインボーネットの普及啓発に努めて参りました。

本事業を推進していくためには、多職種連携が非常に重要ですが、平成29年度以降専門職との関わりの機会も増えてきたと実感しております。専門職間における顔の見える関係づくりを今後も一層進めてまいりたいと考えております。

また、第8期計画では、市外医療機関との連携の構築を図っていく必要があると考えております。市民の方が市外の医療機関に受診することが多いというデータもございますので、どのように連携をしていくかということも課題です。

◎加藤部会長

レインボーネットについて、オブザーバーの在宅医療サポートセンターからご意見等はございませんか。

○中西コンダクター (オブザーバー)

当地区ではレインボーネットという名称で呼ばれておりますが、電子@連絡帳システムはさまざまな地域で活用されております。愛知県広域連携協定も始まり体制的には普及の流れではありますが、実際の活用という点では、利用者が増加していないという現状もあり、まだまだ課題があります。サポートセンターも行政と連携し普及啓発を行っていきたいと考えております。

◎加藤部会長

地域ケア個別会議もレインボーネット上で行っており、多くの書き込みがありますので、新しい生活様式という点では宜しいのではないかと思います。

その他、第8期計画におけるサービス提供体制の確保、重症化や看取りも視野に含めた整備体制の構築という点で何かご意見等ございませんか。

○脇田委員

在宅での看取りにつきましては、希望される方も多いので、今後具体的な課題として考えられます。

レインボーネットにつきましては、ケアマネ同士の意見交換や市からの研修の連絡等という点では活用されている印象ですが、患者の登録数が伸びていない状況であります。先日、対象になり得る方がいらっしゃいましたが、支援する側の事業所の登録の有無、また登録はあるが利用出来る環境が整っていないなど、新規の患者登録をするに際し弊害になっていることもありますので、精査し、普及するための工夫をした方が良いのではないかと思います。

◎加藤部会長

多職種連携の情報共有ツールとしての役割という観点では、ご指摘いただいた部分において大きな意味なのかなと思います。セキュリティが担保され、個人情報がある程度安全に扱える電子@連絡帳の利用について、前期からの課題ではありますが、第8期でも進めていただければと思います。

○太田委員

多職種連携という点では、本事業の取り組みもあり薬剤師やマッサージの先生など、連絡がし易くなったと感じております。

○新美委員

医療機関と連絡・連携は図りやすくなったと思います。レインボーネットの登録者の範囲を、事業所単位又は個人なのか等、明確にした方が良いのではないかと思います。

●事務局

[資料に沿って説明]

(3) 市外医療機関へのアンケート(資料3、参考資料1・2)

◎加藤部会長

資料3について、何か質問・意見等はありませんか。

参考資料2について、今までに入院時情報連携シートの活用はございますか。

○脇田委員

現状は、各居宅介護支援事業所の様式を用い、入院の際に情報提供書として医療機関にFAXしております。項目にバラつきがあり、欲しい情報を網羅していないということもありますので、2市1町の居宅介護支援事業所と、五条川リハビリテーション病院、光寿会リハビリテーション病院、済衆館病院、はるひ呼吸器病院でレインボーネットも活用しつつ半年間程話し合いを重ねまして、統一の様式を作成しました。出来上がったのが先週でありますので、11月から2市1町のケアマネ会で案内をしまして、利用の推奨を行ってまいります。今後、修正すべき点もあると思いますので、一定期間経過後、アンケートの実施も考えております。

○山口委員

一宮市民病院はアンケートの送付先に含めませんか。

●事務局

レセプト分析をした際に、一宮市民病院は利用データがございませんでした。救急搬送では、2カ月間で3件実績がございましたが、いかがいたしましょうか。

◎加藤部会長

地域包括ケアの対象が比較的高齢という点を踏まえると、どうなのかなということもありますが、アンケート数を増やすことが出来るのであれば実施してみたいはいかがでしょうか。

●事務局

アンケートを広域的に実施し、連携を図っていきたいという狙いもございますので、意見を頂戴し集約していければと思います。

○脇田委員

稲沢厚生病院はいかがでしょうか。

○太田委員

名古屋市立西部医療センターはいかがでしょうか。

●事務局

医療センターは、北名古屋市からの受診者が多いと思われます。本市からの救急搬送は0件ですが、受診においては第5位に上がっております。なお、小牧市民病院は救急搬送が1件となっておりますが、今ご意見いただいた医療機関に対してもアンケートを実施していこうと思います。

4. 報告

●事務局

〔資料に沿って説明〕

(1) 電子@連絡帳の活用について（災害時連携オプション）

（資料4、参考資料1）

◎加藤部会長

医師会が事務局の在宅医療介護連携推進協議会ワーキング部会の委員となっておられる方も、この中にいらっしゃると思いますが、そちらの方もご協力を引き続きお願いいたします。

5. その他

●事務局

〔資料に沿って説明〕

(1) 地域包括ケアシステム推進委員会について（資料5）

◎加藤部会長

何かご意見・質問はございませんか。

例えば、大きな問題が発生した場合におきましては諮問委員会のようなものを開催していく、というような理解で宜しいでしょうか。部会としては一つにまとめていくということですね。

全体的なことにつきまして、清須保健所の堀江様からご意見等ございましたらお願いいたします。

○堀江委員

来年度から形式を改め会議を開催していくということですが、現状は認知症や在宅医療介護連携等、ある程度目的が絞られた内容となっております。来年度の当初に、まとめられた会議の目的や中身が明らかになると良いと思います。

また、本事業においては数値化をしていくことが難しい点もあるとは思いますが、数値的な目標を定めることで課題に対する現状の把握・評価がし易くなると思います。現場の方からの意見も一つの評価であるとは思いますが、例えば、実際にこの地域に如何程の介護施設があつて、訪問診療を行っている先生はどの程度いらっしゃるのか、また、レインボーネットについても、患者の登録者が増えていないということであれば、患者自身が登録を望んでいないのか、支援者側がシステムの中身を把握出来ていないのかなど、課題が整理出来ると対策が講じやすいと思いますので、保健所も市役所と連携し合いながら来年度に向けて準備を

していければと考えております。

◎加藤部会長

その他、事務局から何か報告等はありませんか。

●事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

次回の会議は来年の2月・3月頃を予定しておりますので、委員の皆さまにはご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◎加藤部会長

今回の議事につきましては、全て終了いたします。

これをもちまして、令和2年度清須市地域包括ケアシステム推進員会「第1回在宅医療・介護連携推進部会」を閉会します。

本日は円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

6. 閉会

午後3時

会議の結果	会議の経過に示したとおり
-------	--------------